

第14回 吹田市地域公共交通会議 議事概要

日 時：2024年 3月18日（月） 12：40～13：40

場 所：千里山コミュニティセンター 3階多目的室

1. 開会

事務局：来られていない方もいますが、時間の都合もありますので、第14回吹田市地域公共交通会議を始めます。本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。

今回の会議方法はZoomによるウェブ会議と対面による会議との併用とさせていただきます。Zoomでの参加の方には事前に配布しているウェブ会議における注意事項の遵守をお願いします。当会議の内容は、議事録作成のため録音させていただきます。併せて会議の開催状況も撮影しますので、よろしくお願いします。本日、19名の委員うち半数以上のご出席をいただいておりますので、吹田市地域公共交通会議設置要領第5条第2項により、当会議は成立していただきますことをご報告させていただきます。

<資料確認>

当会議は傍聴可能となっています。本日は4名の方が参加されています。

2. 議事

会 長：本日の議事は配布しております次第に従って進めさせていただきます。前回の会議で本格運行への移行についてご承認をいただきました。本日は本格運行につきまして次第に従い事務局より3点の報告があります。議事1～3の報告・説明を一括でいただき、皆様とご議論させていただければと思います。

議事1「吹田市地域公共交通会議 千里山地区等乗合交通試験運行の実績報告」、議事2「バス停名称の変更について」、議事3「地域公共交通会議の終了 地域公共交通協議会への引継ぎについて」を事務局よりお願いします。

<事務局 資料2、資料3、資料4、説明>

会 長：3点について説明いただきましたが、質問・意見はございませんでしょうか。

それでは私の方から、試験運行の実績報告をまとめますと、総じてうまくいっているという評価しているということですのでよろしいでしょうか。

事務局：そうです。

会 長：利用の傾向は色々あるが、少なくとも事務局としてはうまくいっているということで、今後とも継続的に、本格運行となりますが、継続的に乗り続けていただかないと厳しいところもあるが、今は大変地域の方にご協力いただいているというところである。

会 長：順調に利用者数が伸びていることは非常にいいことだと思う。逆にたくさんの方が使っているが故での悩み、例えば、積み残しや、これは問題として扱っていいのかわからないが立たないと乗れない、あるいは乗り降りに時間がかかってしまって生じるダイヤの乱れ等についての話があったのかお聞きしたい。

事務局：阪急バスさんと情報共有をさせていただいているが、積み残しはないと聞いている。人数が多いことによる大幅な時間の遅れは、雨の日などは遅れることもあるが、大幅な遅れはないと聞いている。

委員：当初は大変心配していた乗車率60%についても基準を満たして良かった。最近では生駒の方を通っている地域バスが撤退する等、民間のバス会社の経営状況が非常に厳しくなっているなかで、乗車率も確保できて、3つの駅をつなぐことができたということは大きな成果だと思っている。この会については6年にもわたり有意義な仕事をさせていただいた。私が応募したのは千里山の坂、細い道の坂、千里山西3丁目などあの辺りを何とかしたいという思いで応募した。そここのところは結局通ることができなかった。その時に非常に期待してがっかりしたという意見をいただいていたが、その方から電話をいただいて、「私はそういう意見は言ったが、自分ではないがバスが通るところの利用者が大変恩恵を受けて喜んでいてという声を聞いているので良かった」という言葉をいただいた。また千里山西の方が「今年は確定申告に江坂に早く行くことができた」という喜びの声を聴かせていただいて良かったと思っている。

委員：悲願であったすいすいバスを通していただいております。本格運行になったということで地域の皆さんにご報告させていただいた。本日配布している利用案内は変更になったバス停名が入っている。以前にこれを各公民館に配布をしていただいていたが、その差し替えや地域に対して、本格運行等が書いている何か新しいお知らせみたいなものがあるのかどうか、口頭だけのお知らせになるのかを教えてほしい。

会長：本格運行についてのお知らせはどうなっているのでしょうかということですがいかがでしょうか。

事務局：ご利用案内につきましては、新しく発注しているので、地域の公民館の方にも3月末から4月上旬にかけてお配りできればと思っている。周知については、市報すいたやホームページで周知していきます。またニュースレターとして「本格運行になりました」ということで各会館や公民会にお配りしたいと思っているのでご協力よろしくお願いします。

会長：最後に事務局から説明があったように、本格運行となりこの公共交通会議として役割を終えて、その機能は「公共交通協議会」という別会議が公共交通会議を継承しつつ、引き続き議論していきましょうということで、公共交通会議としては本日が最後です。
市民委員や地域の自治会の委員の皆様にはこの6年間大変お世話になりました。
これで締めようと思いますが、最後に一言いただければと思いますのでお願いいたします。

委員：継前回の料金問題で意見を申し上げていますが、そのことの結論を今日、お聞きできるかと思っていた。資料もなかったのどうなったのかお聞きしたい。

事務局：料金につきましては、市として地域バランス、公平性のことを考えると、ある一定の地域が安くて移動できるというのはどうなのかということもあり、バス事業者の状況なども踏まえ市全域で考えてということでご理解いただきたい。

委員：4月からの本格運行での運賃はいくらですか。

事務局：4月からは220円での運行となります。

最終の大事なご報告ができておらず、申し訳ございません。本格運行が4月1日から始まるにあたり、料金についても現状の200円から220円と、20円値上げして運行させていただきたい。試験運行期間はたくさん乗っていただき、何とか本格運行を迎えたわけであるが、今後市内のバス路線を長く継続して運行していくにあたり、220円と値上げさせていただくこととなりますが、その辺りはご理解いただき、引き続き長くご利用いただければと思います。

委員：これまで収支率30%について、時間をかけて議論してきて、それが課題かと思って乗車率を増やさなければと、地域広くお知らせしてきた。前回、この会議が料金を決定する会議ではないと思うが、これまでの議事録をみると、第5回会議の時に100円の要望が非常

に強いとなぜならコミュニティバスは距離が短い。運行していない地域を運行するというメリットも大きいですが、区間の乗り方やこの地域は坂道が多く、高齢者が多いということもあり福祉バスの性格が強いののでその点でもコミュニティバスと阪急バスとの違いということで、一つ大きなメリットとして安いということもあるのではないかとということで、丁寧な議論をしてきたと思う。それが前回の会議では御座なりだったと感じている。前回、最後に意見を言った反省も含め、今日、収支率30%との関係がどうなのかということもお聞きでき、20円値上げしない場合は市の持ち出しがどうなるのかということもお聞きできると期待していた。最後に値上げで決まっていくのはがっかりした気持ちである。

会 長：補足すると、収支率30%は最低限のところであるので、収支率30%だからもう少しというのはなかなか、事務局が説明したように市全体の公平性というところで大変申し訳ないが、他のバスが220円になっているのでそこはご理解いただきたい。千里丘も収支率30%を超えている。最低限収支率が30%を超えるようにということでの基準であるので、ここまで出しますという基準ではない。前回の議論でもあったが、論理立てはきちんとしておいた方がよいというご指摘はいただいていたのでその説明の回答不備はあるが、繰り返しになるが、の公平性というところで、他の地域が220円で運行しているので、そこはご負担をお願いしたいということで値上げを最終させていただいたということで事務局よろしいでしょうか。

事務局：よいです。

委 員：最後にいうところでは、先ほど申し上げた通りで、すいすいバスができて喜ばれている。料金の問題については、今は色々な値上げで苦しんでいるのに、こんなに簡単に値上げがされていくのかなと、私自身の感想もあり、非常にこの会議としては本格運行の開始と同時にこれまで利用してきた200円が220円になって本格運行れてるとするのは非常に遺憾であるということを申し上げておきたい。

委 員：本格運行を迎えるということで感慨深い。市の総務交通室の皆様にはご尽力いただきありがとうございます。関係先の皆様も長きにわたりありがとうございます。たくさん課題はあるかと思いますが、試験運行から本格運行に移れるということを一先ず嬉しく、ありがたく思っている。このスタートは傍聴いただいている方々のご尽力もあったと思いますので、変わって御礼申し上げます。ありがとうございます。

委 員：先ずは地域住民としてありがたく感謝している。道路事情関係で、当初期待していたところに行けなかった。最初は千里山西5丁目、6丁目にある第二噴水からは他の交通がなかったので期待が大きかった。それができなかったのはやむを得ないと言えやむを得ない。それから千里山西1丁目、3丁目、千三公民館のルートも検討していただいたが実現しなかった。公共性をうたいながら100%でないのが心残りではある。そういう意味ではこれからは道路が改良・整備されたら再検討していただきたいと思う。

委 員：千里新田地域はバスのルートでいうとメインのところを走ってもらっている。ルートに沿線の方は非常に喜んでいる。南千里から緑地公園、千里山と3つの駅をつないで回れるというのは、特に千里山西6丁目のトナリエのところも利用が非常に多く、喜んでいる住民の方もいる。先ほども言われていたが、山の方に、上に上がっているところ、公民館や第二噴水、いわゆる千里山西6丁目の住宅街のところ、千里山竹園1丁目もそうだが、そこが残念だったなあというのが正直なところである。これに懲りずもっともっとお願いをしたいという声も聞いている。ただ今回についてはこのルートでやろうと進めた結果であり、利用が他のすいすいバスよりも多いと聞いているので、良かったのではないかとと思っている。最後に、バス停の停留所名を変えていただき、大変だったかと思うが「砂子谷」に変えていただきありがとうございます。住んでいる方にとっては良かったのではないと思う。

事務局：会議の終了に際しまして、吹田市土木部長より、閉会のご挨拶をお願いします。

副会長：無事に本格運行を迎えることができ、ありがとうございました。私が5年以上土木部を離れていて戻ってきたタイミングでこのすいすいバスのルートについて市の本格的な検討が始まった。自分でも本当にできるのかなと不安に思っていた。特に実証実験でマイクロバスを走らせたときは、まだまだ先かなと思っていた。この期間でできたことは千里山の地域の皆さん、田口委員等の皆さんの熱い思いがあって、特に千里山地域は日頃からまちづくりに熱心にご協力いただいて、市職員と顔が見える関係を築けたのが大きかったと思う。試験運行ではひまわりルートは4年かかったと聞いていた。たけのこルートのように順調ではなく、ルート変更等もたくさんあったと聞いている。こちらについては順調に2年で本格運行に移れたことは非常に良かったと思っている。ありがとうございます。

これで終わりではなく、これまでにいただいていますようにバス停の間隔やルート、病院前にバス停がない等課題がまだまだあります。私たちの想いとしては一旦走らせたいという思いから始まったことであって、本格運行で終わりとは思っていない。先ほどの意見にもあったが、道路が改善されたり、ご協力得られたところにはバス停を設けたり、ということは今後もやっていきたいと思っている。もっとたくさんの方が喜んでいただけたらなという思いですので、また皆さんと一緒に意見交換をさせていただけたらと思っている。また事業者の皆様にも色々ご相談させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今後については、先ほど説明がありましたように公共交通協議会で、すいすいバス全体、さらには吹田市全体の交通を議論する場でこのすいすいバスも一緒に議論をしていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

3. 閉会

事務局：以上を持ちまして吹田市地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はお集まりいただきありがとうございました。

-以上-